磐城毎日

社長　大和田興兵衛
發行所　福島縣平市南町
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人　遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

九ポ、八ポの鑄造が終りました
寫眞版は三時間で製調します
切に御注文下さい
平市仲町（電話七二九番）
株式會社　大和田印刷所

懸案の飯野地區用水施設
災害復舊實現近し

平、石城地區水産地改良費予算査定のため仙台農地事務局橋農林技官、縣耕地課久保田技師は既報の如く來る二十七日來平する事となつたが、平市内に於ける災害箇所は愛谷江筋より舊古川を横斷して灌がい用水を引く舊飯野の谷川瀨、南白土兩地區に架設してある四本の木造掛樋で谷川瀨地區の水田約十八町歩、南白土地區の水田約二十町歩、計三十八町歩の耕地がこの掛樋によつて灌がいされている、この掛樋は何れも舊古川改修工事によつてその長が約三倍に延長された結果年々降雨期に受ける災害が大きく災害の都度その復興費の負擔に同地區農家が悩みの種となつていたのみならず、食糧增産にも影響尠くないので從來から恒久的施設を要望されて居り、舊飯野村の平市合併の條件の一つも加いられてあるので市當局に於てもこの機會にこの掛樋をサイホンに改造するか或は落差の關係でサイホンに改造する事が至難の場合は鐵筋コンクリートに改造するかの兩案中何れかを採擇されるよう強く要望する事となつた

稲熱病他村にも
益々蔓延の兆

既報＝稲熱病は石城郡下に蔓延の徴候を現して二、三日前に鹿島村六、五町、磐崎村五町、渡邊村五町にも發生した

木田町長上京

二十三日久ノ濱木田町長他町議は同町第二築港の早期着工の運動に上京した

會と催し

本二十五日午前九時より平一小において小中高校長を開く

二十七日午後二時より磐城スポーツ連盟事務所において縣青連陸上競技大會開催打ち合せ會を開き會場、日程の決定、資用等につき協議する

納税組合奬勵金
交付方法など市で決る

平市に於ける地方税徴收對策についての舊平窪、飯野、神谷の農業地區事務囑託員會議は二十二日午後二時から市役所委員會室に於て阿部助役、根本收入役、永山神谷兩支所長及所管各課長三地區事務囑託員全員出席の上開催、協議の結果次の如く對策を決定した

一、舊飯野、神谷地區の納税組合は合併前の組織を其の儘存續し一層これを强化する、舊平窪地區は組合の再編成を行い納税の完納を期する

二、組合長の手當を含め徴收額の百分の二を納税組合に還元し完納の組合に對しては別に奬勵金を交付する

小名濱町政明朗化
多年の暗流は解けて

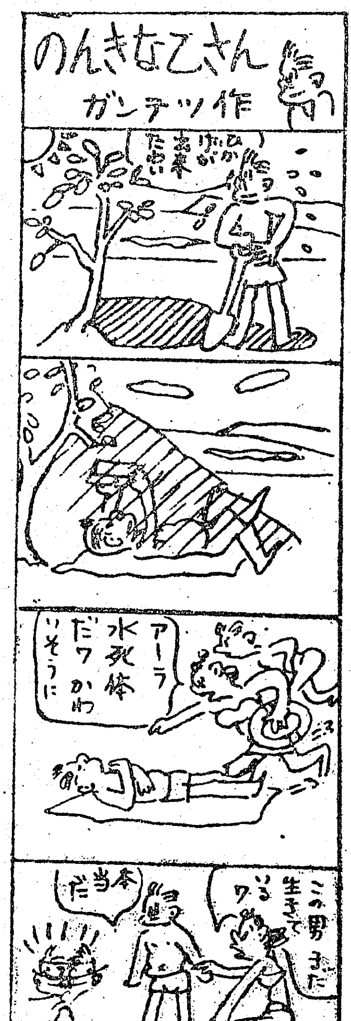
小名濱町は商港問題の處理に就ては累代の理事者は勿論、先輩町議の心たんを盡して今日まで精進を示して居り殊に去る十二年形だけでも完成を見せた三千屯ふ頭の利用に就ては、從來の行掛りから見て放任し得ざる事情にあるので縣は縣費を以て二十五年度に於て三千五百万円の陸上設備に乘り出す事となり、通常國會に於て豫算の通過を見せて居る、所が縣會決議の條件として既設會社たる小名濱港灣運送會社と小名濱ふ頭會社との合併が取り上げられ、合併を責任上成さしむると聲明した、水野新町長の立場の上にも兩社の合併は、急務中の急務である處から其の處理に苦心を拂つて居る現情に於て本町の公人的も又個人的にも二つの暗流がある事が認めらるゝ兩者の合併を實現せしむる前提として二つの暗流を解決するの必要に迫られて居るがその一は公人たる立場に於て築港事務所長、縣港務所長、海運局小名濱支局長、小名濱海上保安署長などの公人間に港灣をめぐつて空氣が澁滯を示して居る一事と、個人的に町會議員の一部と小名濱港灣運送會社の重役間の流通を缺いて居る一事とである、此等に對して樋口町長時代から幾度か是正運動を叫れたが遂に提携し能はずして水野町長に引繼がれ縣會の條件として決議された樣なわけであるから、水野町長の試金石ともなつて居る本問題に對し、町長は去る二十一日港祭りに官衙、町議、其の他の有志をハトバホールに招き懇談會を催し、一擧にこの問題を解決せんと努めた其の結果として先づ個人的の問題から港灣會社重役と町議との間にわたかまる問題の調節に手をつけ二十二日午前十時錦盛館に於て水野町長、菅原、長瀨正副議長の中介で兩者間の手打ちが行われたので茲に初めて暗流と叫ばれた、一問題が解決され、水野町長中心に本町の進展に寄與する事を誓つた、そして少し廣範圍に懇談會を開き清流たらしむる基盤となつた、水野町長と正副會議長は百尺竿頭一歩を進め公人的立場の兩者にも圓滿妥協の策を講じ以て、縣會の決議に添うべきものがある事を期待され十年近い暗流も茲に明朗なる町政の遂行を見るに至るべしと見られて居る

双葉郡助役會

双葉郡下各町村の助役會議は十四日久之濱町役塲會議室で決算、予算について協議をなした

スポーツ寶くじ
平市漸く消化

縣のスポーツ寶クジは賣れ行き不振で平市では割當て額の消化を危ぶまれていたが長谷川敎育課長以下同課員の努力によつて二十二日完全に割當て額を消化した


のんきな乙さん
ガンテツ作
アーラ 水死体だワ かわいそうに
この男まだ生きてるワ
本当だ

殺人魔平澤遂に死刑
空然の難事件茲に終止符

昭和廿三年一月二十六日帝銀支店長を始め行員十二名を毒殺した毒殺及び强盜事件の犯人平澤貞通は昨廿四日午前十一時十分求刑通り死刑の判決言渡しがあつた

この事件は五千百六十四名の容疑者の内から一人の眞犯人として一昨年十二月二十日の審理開始以來六十回の公判を重ね檢證かい數十九回に達してゐる難中の難事件として辯護人の無罪說、檢事側の有罪說と對立して幾多の波らんをまき起し社會の視聽を集めた複雜怪奇な慘虐な知能犯罪として終止符を打つたもの

淺倉鑛に落盤
採炭夫一名死亡

廣野町淺倉炭鑛採炭夫鈴木五六作（三五）は二十一日午前十時頃坑内作業中落盤の下敷きになり重傷、收容されたが間もなく死亡

封緘はがき
切手付封筒も發賣

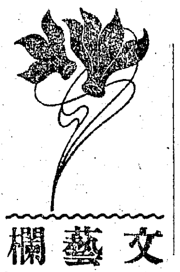
平郵便局では郵便に便利な切手付き封筒と簡易書簡を各一枚九円で賣つてゐる△切手付封筒△簡易書簡は便箋と封筒を兼ねたもので便箋三枚分位は書ける、兩方とも切手を貼る手數がいらずそのまゝ出せるからかい水浴、登山、旅行等に至極便利、また葉書と異つて書き損じたときは切手面を切りぬいて他に使ふことが出來る

小名濱第一中增築
工事完成引繼ぎ終る

小名濱町第一中學校は元高女校の改造に依つて間に合せ第一、二、三期に亘つて十八教室が完成されたが約二千名の生徒は收容し出來ず第一小の九教室を借受け辛うして教育の衝に當つて居るが、飽まで完全を期する上にも四教室の增築が必要とされて居たので二十四年度に於て四教室の增築を決議し、三月着工、作山組競爭落札者二十四日午後一時より建築現場に於て町に引渡しを行い當時は町議が立會引受けをする

体操と音樂の夕

三十日午後六時より平市公會堂において平体育指導者連盟主催で「体操と音樂の夕」が開催される、この會は始めての催しで日米たい操競技、出場の深井一三氏の模範演技、郷土の雄額賀兄弟の重量擧を始めプラスバンドやコヤーラスマットたい操など盛り澤山で延人員二百五十名の出演であるので盛會を予想されてゐる



文藝欄

吾輩は虎である

（九）　吉田昌庸

「あら紅子ちやん、おとなしいと思つたら…」奥さんも妹のあをいさんが見た方をみると紅子ちやんは眞白に粉をかぶつて押入れから出て來た「あをいさんみて下さい、まあ紅子ちやんいたずらばつかりほんとうに困つちまふは」

困つちまふわといふ奥さんの心は古川柳の「いたずらで困りますわと嬉しさう」さう云つた微妙なよろこびの中にゐるのである、赤ん坊も子供達もいたずらをする内は決して病氣をしない、病氣をしなければ病氣をしてつかふ金の何千分の一しかかゝらない、安上りである、子供達よ大いにいたずらをしてよろしい、吾輩も大いにいたずらをするつもりでゐる

十三の鴻君と十の緑さんが「只今」とかへつてきた「あらあをい小母さん」「まあ鴻ちやん、緑さん夜遊んで歩いてはいけません」奥さんはきつと顔をひきしめてあをいさんの眞似みたいに「鴻ちやん緑さん何處で遊んできました」ときめつけた「主人は早く歸るんだよ」と言つたきりである「はい」「はい」主人に言われゝば素直な子供達である、間もなく九疊の部屋にみんな眠つてしまつた

さて吾輩の舞台はこれからである「虎猫は鼠を捕る」奥さんが云つた確信を裏切つてはいけない、鼠の來る所はきまつてゐる、流の樋からまことに身輕な藝當をやつて登つてくるのと玄關の式台ではない吾輩のベランダの下の土を堀つてとびだしてくる事もある吾輩の通路もある、破れ障子の棧をくぐつてしばらく吾輩ベランダにかんたんの夢をむすび鼠社會の活動時間を待つことにした、吾輩の耳は敏感である、その昔侍がくつわの音に目を覺まし山くわの夜道をするものゝ響きをきくより早く鼠の足音を切り立つた耳のアンテナで吾輩をめざめます

◇皆様の食堂◇
御料理の
出前は迅速
ヱビス食堂
平市白銀町大通
電話一〇三八番

近火御見舞御禮

平市柳町六番地
佐々木即市

人事ニュース

△教委石城出張所小泉調査主任は二十三、四の兩日福島で行つた調査主任會議に出席本二十五日歸平

民声

二十二日附地方某日刊紙に「鎌田山水道行悩む國庫補助望み薄と云う大見出しで平市の上水道工事に暗影を投じた如く報道され一般市民を惑はしているが、めん喰つたのは市當局である、アノ記事の内容にある如く水道施設に對する國庫補助は進駐軍關係の水道と新設の市町村にのみ限られている事は間違いない事實である平市ではこの間の事情は百も承知である、從つて平市では最初から國庫の補助金に對しては全然のぞみをかけて居らない、望みない事を承知で要望したり運動したりする程愚ではない、大塚土木課長が上京したのは認可申請中の上水道工事費の單獨起債の認可促進方を要望するためである、水道施設費の豫算に三百万円計上してあるのは國庫補助ではなく縣費補助であつて平市の上水道の新施設に何等の支障を來たしていない、報道の誤りか或は殊更に事實を曲げての報道か、何れにしても市民を惑はす如き報道はつゝしむべきではなからうかと良心的の報道を望む聲が高い

[illegible]録

婚姻 二十一日大浦村大字上戸井田賀澤喜久雄（三〇）氏平市下平窪鈴木ひさ十（二七）さん

出生 二十日平市才槌小小林正光氏長女敎子さん△平市白銀町藥谷保晴氏長女ふみ江さん△九日平市仲間町堀田三郎氏二男公雄さん△十四日平市白銀鐵道官舎矢野郎氏五男正さん△十九日平市杉平金曠氏長男典男さん

特賣七月末日〆切です
ソース二合で拾万圓當る
キリンソース特約店
東京ソース界の王者
食料品
藥品、雜貨
サンキュー
佐々木商店
平市鍛冶町　電話五〇三番

呼吸器科
内科
小兒科
平市才槌小路
和田醫院
電話一一八七番

眞夏の御惣菜に
安價で御手輕な當店自慢の
コロツケ
天ぷら
七圓五十錢
平市一丁目中央通
松豊

宮田が誇る三大特徴
フラッシュバット溶接
靜電吹付塗裝
赤外線乾燥燒付
ギヤエム号
宮田の自轉車
平市六丁目
電話一〇一三番
代理店
鵜沼自轉車店

煙草の耕作良好

葉摘み早くもはじまる

今年の葉煙草は苗—植付—成育と非常に好調で耕作者を喜ばしてゐる、早いところではそろそろ土葉の收獲を始めてゐるが全般的に摘心の最盛期と言うところ、石城地方でも昨年作付百七十五町歩と増え早作早收で昨年よりは作付一週間早となつてゐるが六月中の永雨で上遠野の一部に立枯病の發生を見たのみで外は成育好調此の分では昨年度に比べ約一割五分—二割の増收が見込まれてゐる

電話線切斷さる

犯人は事情に通じた者

二十三日午後五時—二十三日午前八時までの間に湯本驛と綴驛の中間にある傾城トンネル上の鐵道電話線三百六十米が何者かに盗まれた、同所は昨年十二月頃も今度と同じ場所が盗取され今度で二度目、同線は普通余り使用しないので事故があつても使用時でないとすぐ發見出來ないで犯人は事情に通じ同一犯人の仕業と見てゐる

古川A優勝

全國炭礦豫選で

第四回全國炭鑛軟式野球東部地方予選大會は二十二、三の兩日市營、平工、平商球場で行ひ古河Aが優勝した、戰績は次の通り

第一日つづき 第一回戰 高萩3—6A全常磐(A) 第二回戰 小田0—7A大日本、鹿島1—2A山一、全常磐2—3大昭(A)、古河A4A—1磐城鑛業所、古河B2—0赤井(B)、重内2—12A常磐製作、内郷7—0戸部、茨城1—11A湯本(C) △第二日 第三回戰 山一7—5大日本、古河A4A—1大昭B常磐6—7A古河B、内郷7—0湯本(C)、準決勝 古河A11—9山一(B)、古川B4—1内郷(C)、決勝 平工球場 古河A9—0古河B(棄權)(Aは市營、Bは平工、Cは平商球場である)

石城歌話會

來る三十日の月曜日午前九時から好間村古河炭礦つた寮で歌の會を催すとのこと此の會長は箕輪村高野の高萩尊風氏

浴客の監督

浪に呑れて溺る

安達郡二本松町同驛員新妻新(三二)氏は二十三日正午ころ四倉町蛽川かい水浴場で遊えい中浪にのまれて行方不明となつた同氏は二本松町からはるばる團体のかい水浴客に隨行監督の任に當つていたもの

スリ又横行

列車の浴客狙い

一時なりをしづめていた常磐線のスリの一味がうなぎ昇りの炎暑にゆるんだ乘客の懐ろと疲れたかい水浴客の歸途の混雑を狙つてまたまた列車内を横行し始めた

平市舊城跡二一調理人石井義治(五四)は二十二日泉發午後五時五分仙台行下り二二一列車泉—湯本間でズボンのポケットから現金千五百円

×

平市二町目二六無職本田キク子(三二)さんも同列車内湯本—平間で手提カバンから現金七百円入りの財布を

×

また平市十五町目三〇日本水素會社々員猪狩廣吉(五〇)さんは二十三日同列車泉—湯本間でズボンのポケットから通勤定期券、自動車運轉免許證ほか三通書類入

どうしたら泳げるか（九）

日本水泳連盟普及委員 藤森福

(背泳—つゞき)

△臂の練習 初めは矢張陸上で臂の廻轉運動を交互に行う体の前を通り頭より体側を通つて外股にもつてくる動作を圓滑に繼續して肩關節の柔軟をはかつて水中での搔き抜き方を修得すべく準備練習をするがよい水中で立位のまゝでは体位が整なはないから、掌に水を含ませて臂の動作を想像して後方から前方に搔き、搔き終つてから水上に抜き上げる要領を体得すればよい、背泳ぎは脚力が主でこれに臂の調和をさせれば脚さえ利き上体がぐんぐん水上に押し上げられるやうになればうでの搔き方の要領は自然に自分のものとすることが出來やう

△泳ぎの作り方 速泳ぎで大体の要領を會得されたであらうから其の調子を裏返して行うのである、あごを引き脚力丈で上体がぐんぐん進めば、身体のローリングや呼吸のこと等考えずに臂を伸したまゝ、掌を後方に向け水面下五寸位を通して外股まで搔く、搔き終れば初めて掌を下方に返し、水上に抜き上げ肩の力をらつて頭上に運び、これを交互に繰返えせばよいのである、臂と脚の調和は初めは勿論ない、十米、二十米と續けるうちに搔手とけり方の調和が解りかけてくる、脚力と体位がしつかりしていれば臂を抜き上げても沈むことがないからあせらず一日も早く、臂脚の調和を發見することだ

3 注意事項

一、眼の目標は足先を通して後方の一点を見る、常に一定のローリングを行い、兩うでを等分に利かせうで脚の調和を保つこと

二、足甲で一面をける腰を反らせると腹部脚が水面は浮き過ぎる、また腰を曲げると足先が水面に出て水を後方にけれない、両足は横に開かない、上下の巾はなるべく擴いがよい、脚巾が大きければ自然うでも大きく搔けるけり上げる時に丈力を入れることがある

三、外股で抜き上げたうでは肩のちからで頭上に運び肘は曲げるも伸すも自由であるが伸していた方が水に入る時にちからも入り、水の捕捉も巧く出來る、肘手首にちからを入れてはいけない、肩の線に充分伸して入れること

大型バス入を

秀泰さん赤痢

平市鷹匠町四小松チヨ次男秀泰(五)さんは二十二日赤痢と判明隔離された

×

好間村上好間字大畠一〇二中尾ひろ子(三)ちやんは二十三日發病、二十四日擬似赤痢と決定

YSP杯卓球大會終る

第一回YSP杯爭奪卓球大會は二十三日市公會堂に午前九時より開始、平ク(一般男子)平ク(一般女子)磐高A(高校)磐女A(同)小名濱中(男子中學)三坂中(女子中學)が夫々優勝しYSP杯を獲得した、準決勝後の戰績次の通り

△男子一般の部 常磐A3—1日本水素A、平クラブ3—0東北配電A、決勝 平クラブ3—0常磐A

女子一般の部 平クラブ3—0常磐B、常磐A3—0日本水素、決勝 平クラブ3—0常磐A

△男子高校の部 磐高A3—0磐農、平工A3—0平商、決勝 磐高A3—0平工A

女子高校の部 磐女A3—1湯本女、小名濱女高3—1磐女B、決勝 磐女A3—0小名濱女高

△男子中學校の部 錦中A3—2平三中、小名濱中3—2錦中B、決勝 小名濱中3—1錦中A

△女子中學校の部 平三中3—2小名濱中、三坂中3—2錦中A、決勝 三坂中8—1平三中

海、浜の列車

二本松から

廿三日かい水浴列車かもめ号は二本松から團体七百名を乘せて四ツ倉かい水浴場へ灼け付くやうな砂はまに冷いかい水を浴びて樂しかつた一日を終えて午後四時引あげた

福島管理部主催のかもめ号は今後もうみえはまえ客を運ぶであらう

迷子を保護

茨城縣石岡町小學校一年小野義則(八)君は二十三日午後八時ころ四倉町海水浴場附近で迷子になり同町署に保護され身許照介中

磐農遂に勝つ

二十三日小名濱町中學校庭に開催の高等硬球野球試合は磐農好く强豪小名濱を屠る

小名濱高7—0湯本高、小名濱高2—3磐城農高

商狀經濟欄

【鮮魚】 廿四日現在 卸値 (單位貫)

かつを(四倉)	三〇〇円
小かつを(同)	二五〇円
すずき(同)	六〇〇—五八〇円
ほつき(久之はま)	三八〇円
あわび(小名はま)	六〇〇円
そうたかつを(同)	一五〇—一三〇円
あじ(同)	二五〇円
ぶり(同)	二五〇円
いわし(四倉)	二〇〇円

市況活潑、相場上向き

【青果市況】 ㋚市場

玉菜(地物)	三〇—一五円
きうり(同)	五〇—四〇円
さやえんどう(同)	一八〇—一二〇円
なたまめ(同)	一〇〇—五〇円
なす(同)	八〇—五〇円
南瓜(同)	七〇—四〇円
らつきよう	八〇円
トマト(同)	二〇〇—一二〇円
西瓜	九〇—七〇円

市場活潑 相場保合

【株式市況】 磐城證券 三日現在

前週末をうけて船株と紡績が市況を引張つている様で今日は一流物が昂騰した、概算三五〇万株

鋼管	六五	呉羽化	五〇
東洋紡	一九七	苫小牧	一四四
鐘紡	一五三	十條紙	一五〇
日清紡	二八四	本州紙	一五七
呉羽紡	一一〇	日セメ	八四
日東紡	八三	磐城セ	一八三
片倉	三六八	小野田	三九
帝人	一四八	不動新	二四七
東洋レ	一三〇	陽和不	一七五
新光レ	一八〇	開東不	一七五
山パル	一七〇	三越	三九五
東海上	五三五	日麥酒	四二
新郵船	一九四	朝麥酒	四一〇
三井船	一八一	キリン	四九五
日發	四〇	寶酒造	一四〇
三井山	四九	野田醤	三三〇
日石	一〇〇	豊年油	一三三
三井造	一六一	高壓	五三
日立	三七	日産化	五九
東北バ	一三	日活	一四〇

磐高福商に勝つ

全國高校野球縣豫選大會で郡代表磐高は準決勝に福島商を破り東北大會出場權を獲得した、地區代表校の戰績は次の通り

△二日(二十三日)若松商4—3平工、會工1—6A磐高 △第三日(二十三日)磐高4—1川高、準決勝(二十四日)

福商	1	1	0	0	0	0	0	0	2	4
磐高	0	0	0	1	3	0	0	2	A	6A

社員募集

一、年齢二十五才以上三十才以下の男子
一、外交專門で商店生活者の子弟に限る
一、固定給とする、市内居住者
一、採用面接は午前九時迄とする

平市仲町
株式會社 大和田印刷所

◇四ツ倉脫衣場開店◇
百名様收容出來ます○○○○○
四ッ倉町鈴木屋前停留場下車
ひやうたん
平材木町

鰹船濃霧で座礁

二十二日午前三時ころ小名濱町御代亀太郎さん所有鰹船第五稲荷丸(四五トン、業組員二十五名)は鰹約三百貫を積みこみ金華山沖から歸航中濃霧のため進路を誤り双葉郡廣野沖の淺瀬に乘り上げたが同船から發しSOSを折よく通りかかつた久之濱港所属三好丸がキャッチ同乘組員二十五名を無事に救助、なお小名濱海上保安廳からも救助船三隻と同船所有者御代氏らが急行した

密造酒取締り

さる十五日から一週間平税務署で内郷、好間方面のヤミ濁酒の摘發を行つたが、主に密造酒類不法所持犯に重點を置いた結果、好間村上野村原青果物商齋野ミツエ(四六)の一斗八升を始め合計十二件、うち酒類販賣業者三件、飲食店三件ほか三件など燒酎、合成清酒一石四斗七升を押收した

市内有名衣料品店總參加豪華版

平の衣料まつり

御買上げ百圓にて夜具又は糸づま丸帶スンタ等が當る福引大賣出し

才槌小路 イワキヤ洋服店
″ 松屋呉服店
″ 渡邊呉服店
鍛冶町 エビスヤ
一丁目 仙臺屋呉服店
二丁目 吉田屋呉服店
″ ヤマカ
″ 中野洋品店
三丁目 なかや
″ 大黒屋
″ やまと
″ 三井呉服店
四丁目 ツルヤ
″ 山吉呉服店
″ ウロコヤ
″ 小野榮呉服店
白銀町 川又
田町 壽百貨店呉服部
″ マサゴヤ
″ ハシモトヤ糸店
南町 齋藤呉服店
新川町 谷屋呉服店
″ 諸橋呉服店